

アンケート結果(教職員 R3年度 学校評価・自己評価) R3年11月実施

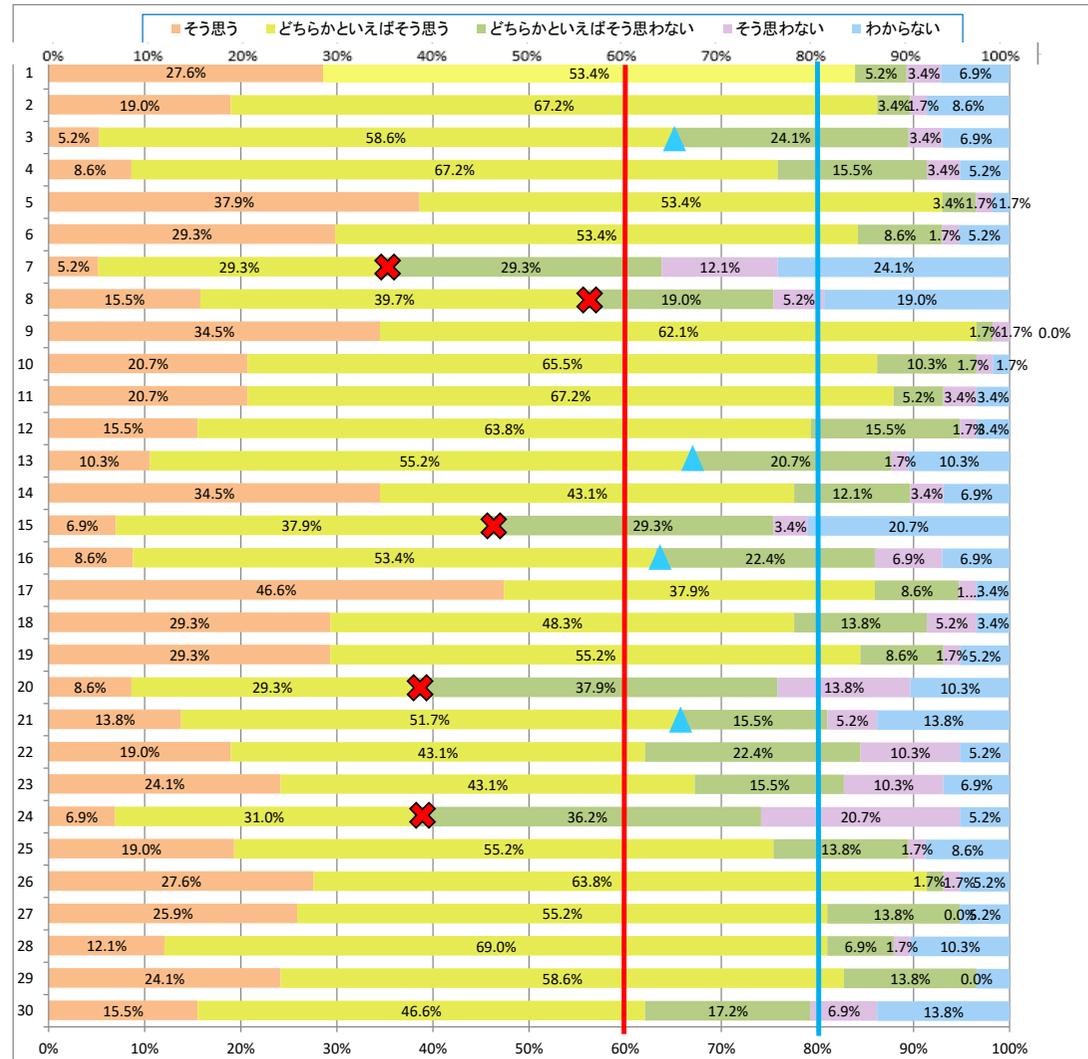
R4. 1. 5.

回答数58名

各項目は目標番号に関連するものに分類しています。

(1: そう思う 2: どちらかといえばそう思う 3: どちらかといえばそう思わない 4: そう思わない 5: わからない)

基礎学力充実のための専門性習得のための指導力の強化	(1) 教職員は本校教育の目的や取り組む努力目標を理解し、教育活動をしている
	(2) 教職員は分かりやすい授業になるように工夫して指導している
	(3) 生徒が意欲的に授業に取り組める環境作りが出来ていると思う
	(4) 学校は生徒の基礎学力が充分身につくよう努めている
	(5) 本校の専門的な学習内容は充実していると感じる
	(6) 資格取得や検定合格に対し積極的な指導が出来ていると思う
	(7) 基礎学力の定着の面でマナトレの効果を感じている
	(8) 生徒は朝の10分間読書の影響で本をよく読むようになっている
基本的な生活習慣の確立を図るための取り組み	(9) 学校は健康で安全な学校生活に配慮している
	(10) 教職員は生徒の基本的な生活習慣が身につくように丁寧に指導している
	(11) 教職員は生徒の悩みや相談に対し親身に対応している
	(12) 担任と保護者との連携や情報共有は適切である
文武両道	(13) 年間を通じた計画的な進路指導の実践が充分なされている
	(14) 教職員は熱心に進路指導に取り組んでいる
	(15) 生徒は進路指導室をよく利用し、就職や進学のための情報を十分調べている
	(16) 学校は勉強と部活動の両立に配慮をしている
	(17) 教職員は部活動の推進と技術向上のために指導に積極的に取り組んでいる
人権・同和教育の推進	(18) 教職員は体罰やハラスメントに留意して指導をしている
	(19) 学校はいじめのない環境づくりに努力している
	(20) 生徒はボランティア活動に積極的に参加している
	(21) 学校は国際理解教育(異文化を認め合う)や国際交流に努めていると思う
働き方改革の推進	(22) 指定休業日を設けたり、休暇の取得を推進しているので、効果はあったと思う
	(23) 職員会議の回数を減らしたりして仕事の見直しを図ったことの効果はあったと思う
	(24) 各部署・学年等で仕事のスリム化を考案、提案したり、実践している
	(25) 学校行事は充実し、生徒にとって魅力あるものになっている
魅力ある学校づくり	(26) スクールバスは安心安全に運営されていると思う
	(27) 学校の雰囲気や生徒の活動に女子高校らしさを感じる
	(28) 生徒は本校に入学して満足していると感じる
	(29) 学校の広報活動は十分に行われていると思う
	(30) 学校とPTA、同窓会、飛梅会の連携は、円滑で組織的に機能している



- 基本的な生活習慣、掃除については生徒のポイントは回復したものの、挨拶や頭髪・服装などは下がっている。教員の肯定感とは差がある。成果が得られるような、さらに丁寧な指導が必要である。
- 学習指導について 基礎学力の定着については生徒たちは減少傾向ではあるものの7割以上は肯定的である。しかしながら、教員のマナトレの効果についての認識は34.5%に留まっているのはどうしてか。10分間読書も伸びを欠く。
- 子どもたちとの向き合い方 教職員は親身になって対応しているつもりであるが87.9%に対して、生徒たちが悩みや相談ができると思っているのは51.2%と乖離がある。  
体罰やハラスメントについても教職員は77.6%の肯定的意見があるが、昨年よりも下げている。生徒たちは依然として6割強で滞っている。生徒たちとの距離間、言葉遣いに注意する。
- 保護者については及第点と思われる6割を切る項目が増えている。とくに、生徒一人ひとりに対しての指導についての満足感が低い。ホームルーム活動の工夫などで克服できるものはありそう。